

有害性評価書

No. 39（有害性）

フェニルヒドラジン (Phenyhydrazine)

目次

| | |
|--------------|---|
| 本文 | 1 |
| 参考1 有害性総合評価表 | 3 |
| 参考2 有害性評価書 | 6 |

2009年6月

厚生労働省

化学物質による労働者の健康障害防止に係るリスク評価検討会

1 物理的性状等

(1) 化学物質の基本情報

名 称：フェニルヒドラジン

別 名：ヒドラジノベンゼン

化学式： $C_6H_5NHNH_2$

分子量：108.14

CAS 番号：100-63-0

労働安全衛生法施行令別表9(名称を通知すべき有害物)第470号

(2) 物理的・化学的性状

外観：無色～黄色の油状液体または結晶 凝固点：データなし

比重(水=1)：1.1

引火点(C.C.)：88℃

沸点：243.5℃(分解する)

発火点：174℃

初留点：データなし

爆発限界(空気中)：1.1～? vol%、

蒸留範囲：データなし

溶解性(水)：14.5g/100 ml (25℃)

蒸気圧：10 Pa (20℃)

オクタノール/水分配係数 log Pow：1.25

蒸気密度(空気=1)：3.7

換算係数：

1ppm=4.42 mg/m³ (25℃)

融 点：19.5℃

1mg/m³=0.23 ppm (25℃)

(3) 生産・輸入量、使用量、用途

生産量：情報なし

輸入量：情報なし

用 途：医薬、農薬の出発原料

2 有害性評価(詳細を参考1、参考2に添付)

(1) 発がん性

○発がん性：ヒトに対する発がん性が疑われる

根拠：ACGIH A3 (参考：EU 2)

○閾値の有無の判断：閾値なし

根拠：種々の試験において変異原性が確認されているため。

○ユニットリスクを用いたリスクレベルの算出

カリフォルニアEPAの資料には、経口ばく露によるNSRL(10⁻⁵)があるが、吸入ばく露についてユニットリスクに関する情報はない。

(2) 発がん性以外の有害性

○急性毒性：あり

○皮膚腐食性/刺激性：あり

○眼に対する重篤な損傷性/刺激性：あり

○皮膚感作性：あり

○ 反復投与毒性（生殖・発生毒性/遺伝毒性/発がん性は除く）：あり

(3) 許容濃度等

○ACGIH(1988年) TLV-TWA : 0.1 ppm (0.44 mg/m³)、経皮吸収性

○日本産業衛生学会：設定なし

○DFG MAK(1995年)：設定なし、経皮吸収性、皮膚感作性

(4) 評価値

○ 一次評価値：設定せず

○ 二次評価値：0.1 ppm (ACGIH の TLV-TWA)